



立 栗 中 だ よ り

立志特集号

学校だより
足立区立栗島中学校
校長 豊崎 努
令和6年11月26日
<http://www.adachi.ed.jp/adkuri>

《立志を振り返って》

《3学年教員より》

主任教諭 平本 麻貴、教諭 矢作 俊平

「悩んだり迷ったりする中で先人たちの様々な営みへの感謝や仲間との絆を感じ、未来へと歩いていく」という立志のテーマを掲げ、学習発表会への準備を進めてきました。

今年度の学習発表会は先のテーマのもと、自分達の手で脚本から全て作り上げてきました。リーダー達はどのように運営すればいいのか、たくさん迷いました。しかし、大人の手を借りることなく仲間と相談しながら乗り越え、みんなで協力しながら本番までたどり着きました。生徒達の姿からは仲間と一緒に何でもできるという強い意志を感じることができました。

また学年合唱では、「わが里程碑（マイルストーン）」という曲に挑戦しました。立志のテーマを表現する曲であり、今まで歌ったことのない難しい曲でした。昼休みのパート練習、学年練習を通してハーモニーを合わせ、曲の完成度を高めていきました。短い曲でしたが、学年全員が心を合わせたあの瞬間、会場にいた皆様の記憶に残る合唱となっていたら幸いです。

《特別支援学級教員より》

教諭 稲垣 愛衣

9月中旬から本番に向け、卒業生のDVDを観て、朗読劇の内容や配役について知るところから始めました。配役が決まり台本を配布すると、暗記できるか不安に思う生徒が多くいました。しかし練習を繰り返すにつれ、台本を見ずに自信をもって取り組めるようになっていきました。徐々に自信をつけていく生徒たちを見るのは、日々の楽しみでした。特に今回の群読は、新しいことに挑戦しました。例年は教員が全て合図を出していましたが、今回は開始の合図のみ教員が出し、それ以降は全て自分達で息を合わせて発表しました。始めはバラバラだった言葉も、練習を積み重ねるうちに相手に届くメッセージとなりました。全体練習の前後には、「誰かに言われてやるものではなく、自分たちで協力して作る朗読劇にしよう。」と話をしてきました。当日は見事に自分達で劇を作り上げ、素晴らしい発表をしてくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。

《2学年教員より》

教諭 山本 一郎

今年度の2年生のグループ立志のテーマは「日本の〇〇〇」でした。昨年のテーマ「足立の〇〇〇」を発展させたもので、生徒自らが興味のあるものを選び、テーマを決めて取り組みました。各グループのテーマは、Aグループ「日本のサブカル」、Bグループ「日本社会のよさ」、Cグループ「日本の食文化」、Dグループ「日本のエンタメ」です。それぞれのグループがリーダーを中心に、自分達の力で作品を完成させました。限られた時間の中で、周りの人の意見を尊重し合いながら、その意見を1つにまとめて作り上げていくことの大変さを感じているようでした。

特に、3年生の舞台発表を見た後の一週間の頑張りはとてもすばらしいものでした。「来年は更にパワーアップして、今年の3年生を超えるような発表をしたい。」という、生徒の振り返りシートの言葉が印象的で、とても嬉しく感じました。2年生のみなさん、大変よく頑張りました。

《1学年教員より》

「足立区の〇〇」について、しっかりと調べ来年の立志につながるとても良い発表だったと思います。この経験を学校生活にも生かし、自信をもって何事も頑張りますよ！（主任教諭 谷田 絢沙）

全員での調べ学習、スライド・台本・発表・美術・聞き手の各役割…、栗中生の「頑張ることを楽しむ姿」を見られて温かい気持ちになりました。良い刺激をもらいました！（教諭 神子 朱莉）

初めての立志でしたが、グループで協力し良い発表にしようとする姿がありました。この経験を生かし、来年の立志でパワーアップした姿が見られることを楽しみにしています。（教諭 毛海 崇典）

「立志」というものが何なのか、わからない事だらけの中でのスタートでしたが、グループ全員で協力し、とても良い発表となりました。来年の更なる成長が楽しみです。（主幹教諭 藤波 大介）

足立区の自然について自ら調べ、分かりやすく伝えるために発表の準備を進めることで、主体的に学ぶ力を身につけることができました。立志で育んだ力を今後に生かしましょう。（教諭 鈴木 祐司）

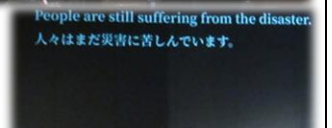
11月2日(土) 学習発表会

令和6年度学習発表会舞台の部を行いました。当日はたくさんの保護者の皆様、来賓・地域の皆様にも参観していただきました。ありがとうございました。



国語弁論、英語スピーチでは、自分で書き上げた原稿をもとに、自分の言葉で、想いを込めて伝えていました。原稿を読み上げるだけでなく、しっかりと自分のものにして伝えられていたので、その想いはしっかりと聴く人の心に届いたはずですよ。

3年生の立志は修学旅行をテーマに3つのグループに分かれて、それぞれ準備をしてきましたが、結果的には3つのグループで1つの物語を作り上げ、新しい立志の形を見せました。脚本から自分達で考え、試行錯誤を繰り返して迎えた本番、今までとは違う新しい立志に挑戦をし、見事成し遂げました。最後の全員合唱からは、3年間の積み重ねと仲間との絆が感じられました。



5組の朗読劇「花さき山」では、物語を作るナレーター、演技と台詞で気持ちを伝えるキャスト、音楽で舞台を盛り上げる演奏、息を合わせて行う群読、一人一人がそれぞれの役割を全うし、やり遂げました。みんなのために「わたし」ができることは何か、見ている人に強く訴えかける発表となりました。

3年生が中心となって練習を重ねてきた吹奏楽部、ダンス部の発表では、舞台袖での緊張した表情とは一変して、発表そのものは堂々と自信をもって披露できました。会場を巻き込んで、自分達はもちろん、全校で楽しむ時間となりました。



今年度のスローガン『個性咲裂～色とりどりの花が咲き乱れる発表会を～』のもと、栗中生が個性あふれる発表を披露し、素晴らしいステージとなりました。実行委員や生徒会役員を中心に時間をかけて準備をし、発表者一人一人が何度も練習を重ね、その成果を存分に発揮することができました。発表者はもちろんですが、聴衆者も一丸となって作り上げた学習発表会でした。

11月9日(土) 1・2学年立志発表会

前週の3年生のグループ立志を見て、行われた1・2年生の立志発表会。目指すべき形が明確になったこともあり、どのグループも完成度の高い発表となりました。調べ学習に重点を置き、時間をかけて情報を集めてわかりやすくまとめたグループ、表現することに重点を置き、プレゼンテーションの方法を試行錯誤し工夫を凝らしたグループ、それぞれのグループがそれぞれの方法で発表の日を迎えました。発表の内容や仕方は様々でしたが、友達と意見をぶつけ合い、より良いものを作り出したという思いはどのグループも同じだということが伝わりました。



本番で素晴らしい発表ができたのは、そこにたどり着くまでの過程が素晴らしかったからです。学年が上がるにつれ、皆さんの成長が見られ、経験は人を大きく成長させる、ということが改めて実感できました。

